

第25回 日本腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

プログラム・抄録集

会 期：2011年6月10日(金)～11日(土)

会 場：大阪市中央公会堂

〒530-0005 大阪市北区中之島1丁目1番27号

TEL：06-6208-2002

HPアドレス：<http://osaka-chuokokaido.jp/>

当番世話人：鳴海 善文

大阪医科大学 放射線医学教室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL：072-683-1221

E-mail：fukubu2011@art.osaka-med.ac.jp

研究会HP：<http://www.jsar.jp/25th/>

(第25回ホームページ上の「宿泊・旅行案内」もご活用下さい。)

第25回 日本腹部放射線研究会

当番世話人 鳴海 善文

大阪医科大学 放射線医学教室

第25回日本腹部放射線研究会を、平成23年6月10日(金)・11日(土)の両日、大阪市立中央公会堂で開催させていただきます。来阪して頂ける多くの皆様にご満足いただけますように、教室員一同、力を合わせて会の運営に当たりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

今年3月11日の東北地方・太平洋沖地震とそれに引き続く福島原発の事故により被災された先生方には心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の大災害による開催の是非を真剣に検討しましたが、被災の影響の少ない大阪から日本腹部放射線研究会として活力を発信することがこの時期において適切であると考え、今回の開催となりました。

本研究会は1990年の初回開催時より、その目的は「病理と画像の詳細な対比を中心とした、臨床に役立つ画像診断」の研究会とし、歴代会長や世話人の皆様、そして日常臨床に真剣に取り組んでいる会員の皆様のご努力により、その伝統は生かされてきました。今回もその伝統を守り、口演発表のセッションでは、日常臨床に密接に関わっておられる病理の先生方のコメントを頂き討論を深めて頂きます。展示発表は、例年通り初日の夕方にポスターディスカッションの時間を用意しております。口演発表、展示発表ともに腹部画像の新進気鋭の先生方に座長をお願いしましたので、大いに会を盛り上げて下さるものと期待しております。

基調講演では京都府立医科大学の柳澤昭夫先生に「IPMNの画像と組織像－嚢胞性病変としての位置づけからみて」、そして大阪市立大学の若狭研一先生に「早期肝細胞癌と前癌病変の病理」のご講演をご依頼しました。ランチョンセミナーはGEヘルスケア・ジャパン社と東芝メディカルシステムズ社、イブニングセミナーはシーメンス・ジャパン社とフィリップスメディカルシステムズ社に担当して頂きます。クイズ症例は公募のクイズを10題解いて頂く形式になります。成績上位者にはささやかな景品を用意しておりますので、奮って応募して下さい。

中之島の大阪市立中央公会堂は1917年に個人の寄付が端緒となり建築されたもので、2002年に建物の外観や内部空間はできる限り保存したうえで、耐震性能やバリアフリーを確保した改装が行われ、現在に至っています。中之島は北の堂島川と南の土佐堀川に挟まれ、東西に長く船の形をしており、中之島公会堂のある東端は水都の面影を残しており、東洋美術館、府立図書館など歴史的建物が建ち並び、公園もあり市民の憩いの場です。公会堂から土佐堀川を渡り南側に歩いて2～3分で緒方洪庵の適塾があります。蘭学者・緒方洪庵の旧宅が公開されていて、ここに塾生福沢諭吉らの学びの跡を見ることができます。学会の合間に、屋外に出て公会堂の回りをゆっくり散歩されるのも一興かと思います。夜は、「食い倒れの街」大阪で難波や梅田の美味しい食事を囲みながら診断論議に花を咲かせて下さい。なお、恒例のサッカー大会、テニス大会は今年も開催いたしますので奮って御参加下さい。

最後に、本研究会を開催するにあたって多数の貴重な症例を応募して頂いた先生方、ご多忙のなか快く引き受けて下さった病理コメンテーター、座長、講演の先生方、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、機器展示に多大なご協力を頂いた各メーカーの方々、そして本研究会の運営を影で支えてくれた教室員に心から感謝します。

一般社団法人日本腹部放射線研究会 役員名簿

《代表理事》 松井 修 (金沢大) 《副代表理事》 森 宣 (大分大) 後閑 武彦 (昭和大)

《名誉会員》：7名

打田日出夫 (大雄会 IVR セ) 黒田 知純 (大阪がん予セ) 中尾 宣夫 (兵庫医大) 中村 仁信 (彩都友誼会)
平松 京一 (水町 MR) 平松 慶博 (サン虎の門) 宗近 宏次 (南東北)

《理事》：7名

荒木 力 (山梨大) 今井 裕 (東海大) 大友 邦 (東京大) 角谷 眞澄 (信州大)
杉村 和朗 (神戸大) 富樫かおり (京都大) 山下 康行 (熊本大)

《功労会員》：3名

木戸長一郎 (木戸病院) 竹川 鉦一 (南東北病院) 山田 龍作 (大阪市大)

《監事》：2名

鳴海 善文 (大阪医大) 南 学 (筑波大)

《評議員》：85名

【北海道・東北地区】：5名

児玉 芳尚 (手稲溪仁会) 齋藤 博哉 (JA旭川厚生) 篠原 敦 (鳴海病院) 高橋 康二 (旭川医大)
橋本 学 (秋田大)

【関東・甲信越地区】：28名

赤羽 正章 (東京大) 飯沼 元 (国立がんセ) 磯部 義憲 (東京医療セ) 市川 智章 (山梨大)
岩田 美郎 (東海大) 上野 恵子 (東京女子大) 楫 靖 (独協医大) 加村 毅 (信楽園病院)
北中 ゆき (町田市市民) 隈崎 達夫 (日本医大) 桑鶴 良平 (順天堂大) 河野 敦 (癌研有明)
五味 達哉 (東邦大大橋) 齋田 幸久 (聖路加国際) 陣崎 雅弘 (慶應大) 新本 弘 (防衛医大)
高橋元一郎 (日大総合科学研究所) 竹下 浩二 (帝京大) 田中優美子 (筑波大) 谷 一朗 (横浜栄共済)
谷本 伸弘 (慶應大) 佃 俊二 (日赤医療セ) 成松 芳明 (市立川崎) 松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア)
水沼 仁孝 (大田原日赤) 森山 紀之 (国立がんセ) 八代 直文 (東和病院) 吉田 哲雄 (神奈川県がんセ)

【中部・北陸地区】：10名

石口 恒男 (愛知医大) 伊藤 茂樹 (名古屋城北クリニック) 兼松 雅之 (岐阜大) 蒲田 敏文 (金沢大)
唐澤 英偉 (国際医療福祉大熱海) 小林 聡 (金沢大) 左合 直 (福井赤十字) 竹原 康雄 (浜松医大)
利波 久雄 (金沢医大) 宮山 士朗 (福井済生会)

【近畿地区】：17名

磯田 裕義 (京都大) 伊藤 亨 (神戸中央市民) 今岡いずみ (近畿大) 河上 聡 (京都ProMed)
吉川 公彦 (奈良県立医大) 金 東石 (大阪大) 佐藤 守男 (和歌山県医大) 中村 健治 (大阪市大)
平井都始子 (奈良医大) 廣田 省三 (兵庫医大) 廣橋 伸治 (大阪暁明館) 古川 顕 (滋賀医大)
前田 哲雄 (神戸大) 三浦 行矣 (先端医療セ) 村上 卓道 (近畿大) 山崎 道夫 (公立甲賀)
山本 和宏 (大阪医大)

【中国・四国地区】：10名

伊藤 勝陽 (尾道総合病院) 伊東 克能 (川崎医大) 伊藤 悟志 (高知大) 金澤 右 (岡山大)
児島 完治 (キナシ大林) 上者 郁夫 (岡山山) 福永浩太郎 (香川大) 松崎 健司 (徳島大)
松永 尚文 (山口大) 渡辺 祐司 (倉敷中央)

【九州・沖縄地区】：15名

青木 隆敏 (産業医大) 磯本 一郎 (長崎大) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大)
落合 礼次 (福岡和白病院) 工藤 祥 (佐賀大) 田村 正三 (宮崎大) 浪本 智弘 (熊本大)
西村 浩 (済生会二日市) 福倉 良彦 (鹿児島大) 福田 俊夫 (長崎市民) 本田 浩 (九州大)
松本 俊郎 (大分大) 村中 光 (九州医療セ) 吉満 研吾 (福岡大)

(107名敬称略・順不同)

《事務局》

森 宣 / 山田 康成 / 小川 智子

大分大学医学部 臨床医学系放射線医学講座

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL : 097-586-5934 (放射線科医局) FAX : 097-586-0025 E-mail : jsar@oita-u.ac.jp

一般社団法人設立と年会費制導入について

腹部放射線研究会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。本研究会の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日(月)に名実ともに「一般社団法人日本腹部放射線研究会」として設立登記致しましたことを報告致します。

研究会の指針を定める役員構成と選考は従来通りですが、役員及び役員会名称が下記の通り変更となりますのでご周知下さい。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めに基き、平成23年度始となる本年5月1日より「年会費制」を導入致します。

「年会費(¥8,000円)」はお支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済方式と致しますが、例年6月に開催しております学術集会への『参加費(¥8,000円)』は会場での当日支払いを御願いさせていただきます。

但し、研究会開催前(今年は5月9日から末日までの3週間、来年からは4月1日から5月31日の期間)に、当年度の「年会費」をクレジットカード決済にて既にご登録頂いた場合は、研究会「参加費」は年会費納入の特典として『無料』となりますので積極的な同期間の年会費納入をお願い申し上げます。

「年会費納入」により多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願致します。

一般社団法人日本腹部放射線研究会
代表理事 松井 修
事務局長 森 宣(副代表理事)

記

《役員構成とその名称について》

(旧)幹 事(幹事会:年2,3回)	→	(新)理 事(理事会)
世 話 人(世話人会:年1回)	→	評 議 員(社員総会)
顧 問(幹事より選任)	→	名誉会員
名誉会員(世話人より選任)	→	功労会員

《年会費について》

年 会 費: ¥8,000円

納入期間: 日本腹部放射線研究会法人年度内(5月1日～翌年4月末日)

[年会費納入の特典]

- 1) 研究会参加費(¥8,000円)の免除(研究会開催前の一定期間に年会費を納入して頂いた場合に限られます)
- 2) 研究会および研究会関連学会の情報提供
- 3) HP上の「デジタルアトラス」閲覧用の専用アカウント配布
- 4) 学術研究助成基金の応募資格を有する

(注)平成23年5月1日以降、現在ホームページで会員限定公開の「デジタルアトラス」と「学術研究助成基金」は年会費納入者に限定されます。

[会費納入方法]

既に会員登録済みの場合は、研究会ホームページの会員登録頁より「確認・修正」をご選択頂きクレジットカード決済のご入力を御願い致します。

新規登録の場合は「新規登録」からの会員登録を御願い致します。

(注)翌年5月1日以降(平成24年度～)は毎年、当該クレジットカードより自動決済となります。

以上

ご案内

1. 総合受付

- 1) 受付は、大阪市中央公会堂1Fロビーにて、6月10日(金)8:15～、6月11日(土)8:30～開始致します。
- 2) 参加費は8,000円です。参加費と引き換えに名札(兼出席証明書)をお受取下さい。
- なお、会費制導入に伴い2011年5月9日～5月31日までに会費をお支払い頂いた方には研究会参加費が無料となりますので、事前登録受付にお越し下さい。

2. 一般演題

【一般口演】

- 1) 座 長
- ・ ご担当頂くセッションの終了時間を厳守して下さい。一般口演の発表時間はすべて5分、討論時間は各口演につき3分(ディスカッション2分、病理などのコメント1分)とします。

2) 発表者

◆「プレデジタルアトラス」、「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」について

「腹部画像診断アトラス」は第14刊まで発刊致しましたが、「同一症例の他の学術誌への投稿により二重投稿になる可能性があること」や「業績として認められないこと」などの問題点があることから、第23回研究会より学術誌「臨床放射線」へ掲載する方針となりました。

◆「プレデジタルアトラス」について

発表者全員に研究会ホームページ上で発表内容を「プレデジタルアトラス」形式で事前入力して頂き、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

研究会終了後に、掲載希望確認の上、「プレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として研究会ホームページに掲載致します。また、日本腹部放射線研究会が、学術誌「臨床放射線」への投稿（「プレデジタルアトラス」＋「英文サマリー」＋「査読」）をサポート致します。（学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。）

タイムスケジュール

H22	11	12	H23	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
演題登録			「プレデジタルアトラス」入稿			掲載諾否最終確認			◆ 第25回 日本腹部放射線研究会						
『プレデジタルアトラス』内容修正 (学術誌「臨床放射線」投稿は英文サマリー追加)										「デジタルアトラス」HP掲載					
「臨床放射線」査読(JSAR査読委員)										※「臨床放射線」掲載					

※「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定致します。

執筆要綱（概略）

①「プレデジタルアトラス(=デジタルアトラス)」

Total文字数	
8,500字以内	演題名、演者名、所属…8,500字に含む 図、表…1点を400字に換算 (例)図10枚を掲載の場合(400×10=4,000字に換算) →入力Total文字数は実質4,500字以内となる

②「臨床放射線」

「プレデジタルアトラス」掲載内容を論文に整えて頂き、英文サマリー(演題名、演者名、所属含100ワード以内)を追加後、査読を受け掲載となります。

◆ **発表時間**

- ・ 一般口演の発表時間は発表5分・討論時間3分です。時間厳守をお願い致します。

◆ **発表形式**

- ・ 液晶プロジェクターによる発表ですので、ご自身のPCもしくはデータをご持参下さい。スライドは使えません。
- ・ 舞台上に用意されたマウス、スイッチボックスを演者ご自身で操作して頂くリモートプレゼンテーションです。

◆ **受付**

- ・ PCの受付は、1Fロビーにございます。発表の30分前に試写をお済ませ下さい。
(混雑が予想されますので、十分時間の余裕を持って、随時PC受付を行って頂きます様ご協力下さい。)
- ・ PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮下さい。

◆ **発表に関する注意事項**

- ・ ご発表は、リモートプレゼンテーションを使用して頂きます。演台に液晶モニタとマウス、スイッチボックスが設置されておりますので、これら进行操作して下さい。
- ・ PCは演台に置きませんので、発表者ツール等はご利用頂けません。予めご了承下さい。

<PC本体を持参される方>

- ・ 受付スタッフの指示に従って試写用モニタで確認をして下さい。
- ・ モニタ出力端子が、Dsub-15ピン・3段以外はプロジェクタとの接続が出来ません。この形式以外の端子は接続用のアダプタが必要ですので必ずご持参下さい。また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプタをご用意下さい。
- ・ 画面の解像度はXGA(1024×768)をお願いします。
- ・ バックアップメディアも持参されることをお勧めします。
- ・ 音声についてはご使用できません。

<データのみ持参される方>

- ・ メディアはCD-R またはUSBフラッシュメモリのみ受付けます。
- ・ 受付スタッフの指示に従ってデータをコピーして、試写をして下さい。
- ・ 研究会で用意しますパソコンのOSはWindows XPおよびMac OS Xです。アプリケーションはWindows版のPowerPoint2003またはPowerPoint 2000、Macintosh版のPowerPoint X、2004、2008、もしくはkeynote 2、3、4、5です (Mac版について互換性の関係で必ずOS Xで作成して下さい)。フォントはOS標準のもののみ対応致します。画面の解像度はXGA(1024×768)です。
- ・ 動画等がある場合には、予め受付スタッフにお伝え下さい。なお、動画データ等の参照ファイルは全て同じフォルダに入れて下さい(PPTへの貼付けリンクの確認をお願い致します)。
- ・ 音声についてはご使用できません。

◆ **病理標本**

- ・ 口演については病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については事前にプレパラートを送付頂く事になります。郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしましたプレパラートは、口演が終わりましたら病理受付にて返却致しますのでお忘れのないようご注意下さい。

【ポスター展示】

ポスター展示については、一般展示、問題提示(クイズ)形式の両方で行います。展示の先生方は各自どちらの方法かをプログラムで確認のもと、作成をお願い致します。

1) 一般展示発表者

ポスター作成(8ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上：横115cm×縦90cm、パネル下：横115cm×縦90cmで作成下さい。

2) ポスターディスカッション

- ・ 第1日目の18:00～18:40までポスターディスカッションを行いますので、ご自身のポスターの前で待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表2分、質疑2分をお願い致します。

3) クイズ展示発表者

ポスター作成(9ページのポスター作成見本を参考に作成下さい)

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上(出題)：横115cm×縦90cm、パネル下(解答解説)：横115cm×縦90cmで作成下さい。
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを集めて作成して下さい。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願い致します。矢印や矢頭はつけて頂いても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願い致します。出題部分と重複してお示し頂いても構いません。
- ・受付の際に90cm×116cmの紙をお渡し致しますので、解答解説部分を隠すように貼って下さい。第1日目の18:30に係りのものが紙を外して解答解説を公開致します。

◆ ポスター提示について

- ・ポスター展示会場は「3F 中会議室」です。第1日目午前11:00までにポスター会場にて展示受付をお済ませ下さい。
ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープをお使いになって掲示して下さい。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、第1日目の18:00から18:40まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機しておいて下さい。
- ・全プログラム終了後、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承下さい。

4) 参加者

- ・ポスター展示の閲覧時間は第1日目11:00～19:00、2日目8:00～17:00です。第1日目の18:40までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。
- ・会場には解答用紙を用意しておきますので、解答・解説が発表される前に皆様奮って解答をご記入下さい。なお、解答・解説は第1日目の18:40に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函下さい。
- ・上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意致します。

3. 社員総会(世話人会)

日 時：6月10日(金) 13:00～13:30
場 所：3F「特別室」

4. 展示クイズ企画

日 時：6月10日(金) 11:00～18:40
場 所：3F「中集会室」
※6月11日(土) 11:45～11:50 クイズ症例優秀者表彰

5. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：6月11日(土) 13:20～13:50

6. 基調講演

【基調講演1】：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：6月10日(金) 11:30～12:00
座 長：辻 求(大阪医科大学病理学教室)
演 者：柳澤 昭夫 先生(京都府立医科大学大学院医学研究科人体病理学 京都府立医科大学附属病院病院病理部)
『IPMNの画像と組織像－嚢胞性病変としての位置づけからみて－』

【基調講演2】：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：6月11日(土) 11:00～11:30
座 長：鳴海 善文(大阪医科大学放射線医学教室)
演 者：若狭 研一 先生(大阪市立大学大学院医学研究科 診断病理学(附属病院病理部))
『早期肝細胞癌と前癌病変の病理』

7. 共催セミナー

【ランチョンセミナー1】：東芝メディカルシステムズ株式会社

日 時：6月10日(金) 12:05～12:55

座 長：金澤 右 先生(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線医学)

演 者：陣崎 雅弘 先生(慶應義塾大学医学部放射線科学教室)

『泌尿器画像診断の新たな展開 ～320列 Area Detectorを用いて～』

加藤 勤 先生(医療法人住友別子病院 放射線部)

『3TMRIでの肝胆膵領域におけるMulti-Phase Transmissionの使用経験』

【ランチョンセミナー2】：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：6月11日(土) 12:00～12:40

座 長：村上 卓道 先生(近畿大学医学部 放射線医学講座放射線診断学部門)

演 者：本杉宇太郎 先生(山梨大学医学部放射線科)

『MRエラストグラフィー本邦における初期知見』

【イブニングセミナー1】：シーメンス・ジャパン株式会社

日 時：6月10日(金) 17:10～18:00

座 長：山本 和宏 先生(大阪医科大学 放射線医学教室)

『腹部領域におけるCT・MRの撮影技術Update』

演 者：小林 聡 先生(金沢大学大学院 医学系研究科 経血管診療学)

『DSCTにおける新たな画像診断の可能性』

梶 靖 先生(獨協医科大学 放射線医学講座)

『MRIで理解する前立腺解剖』

【イブニングセミナー2】：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

日 時：6月11日(土) 16:25～17:05

座 長：杉村 和朗 先生(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野)

演 者：今井 裕 先生(東海大学医学部 基礎診療学系画像診断学)

『Ingenia 3.0TMRI装置の新技術dStreamによる臨床初期経験』

8. 企業展示

展示協賛プレゼンテーション

日 時：6月11日(土) 11:30～11:45

座 長：松木 充(大阪医科大学 放射線医学教室)

発表1：富士フィルムメディカル株式会社

発表2：株式会社AZE

発表3：ピー・エス・ピー株式会社

企業展示 (6月10日(金)～11日(土))

富士フィルムメディカル株式会社、株式会社AZE、ピー・エス・ピー株式会社

9. ワークショップのご案内

日本腹部放射線研究会第2回 CT コロノグラフィー・トレーニングコース(JSAR CTC-WS)

日 時：6月12日(日) 8:30～14:30

講義と画像ワークステーションによるハンズオン形式：定員20人

場 所：TKP淀屋橋カンファレンスセンター

一般ポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

演題番号は事務局で準備します。		使用しません		135mm 60mm	
塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 魚山 登史, 柳生 茂, 南 孝, 赤羽 正孝, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 藤田 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科		症例 ・ 66歳男性 ・ 主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 ・ 日本酒2合×62年 ・ 6月秋節にて胃血指診(血 6合)近医受診、7月頃下血が一応あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院、Hb 6.6合、輸血、OT、US行も出血源不明、11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診、Hb 6.8と低下のため緊急入院。		入院後経過 ・ Hb 6.8 g/d L, CRP <0.3 mg/dl ・ 正球性貧血 (RBC 227万 1 / μ L, MCV 88.1) ・ amylase 188 IU/L, p-amylase 74 U/L ・ 緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸 Duodenal portion 12 のみ血斑性痔 ・ OT (一面目): 慢性脾炎後遺、脾臓部に石灰化 ・ 小腸造影: 異常なし ・ HSA出血シンチ (異常なし) ・ 糖血(MAP 21.65mm)	
図1. 腹部造影CT (1回目、漏延期) 		図2. 上部dynamic CT (2回目) 		図3. MPVR-MIP 	
図4. 腹腔動脈造影 		図5. 上部dynamic CT (2回目) 脾石灰化に準じて胃十二指腸動脈(矢印)につながるように動脈瘤(矢印)を認める。		図6. 胃十二指腸動脈造影 後上部十二指腸動脈動脈瘤(矢印)に慢性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。	
 塞栓術後の上部動脈造影にて、後上部十二指腸動脈動脈瘤の近位に小さな慢性動脈瘤の存在を認めたが、脾動脈の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。		5ヶ月後のERCP ・ 主膵管内結石 ・ 膵管拡張		Hemosuccus Pancreaticus ・ Sandblom P (1970)が最初に報告 ・ 膵管からの大量の出血を指す ・ ほとんどものが慢性脾炎に伴うもの ・ 慢性動脈瘤の膵管内破裂により膵管から出血 ・ その他に外傷性、富血性動脈の脾転移、迷走脾(異所性脾)などによるものも報告されている ・ 報告 65例(塞栓術による治療例 9例)	
Hemosuccus Pancreaticus : 診断 出血は慢性のため、動脈から膵管への出血が検出されるのはまれ。(Suter, 1995) 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Moraw, 1988; Jacobs, 1992). 内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994). CTで慢性脾炎、動脈瘤。 3D-CTangiography も有用 (Makrfield, 1997).		Hemosuccus Pancreaticus : 治療 ・ 手術 ・ 脾部分切除、脾臓、動脈の結紮 ・ 塞栓術 ・ 動脈瘤の近位・遠位の塞栓		Hemosuccus Pancreaticus ・ 慢性脾炎に慢性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1976; Hofer, 1997). ・ 慢性脾炎症例における膵化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に撮影する必要がある。	
900mm		900mm		60mm	
1160mm		1160mm		80mm	

この部分は見にくいので、掲載しないようにして下さい。

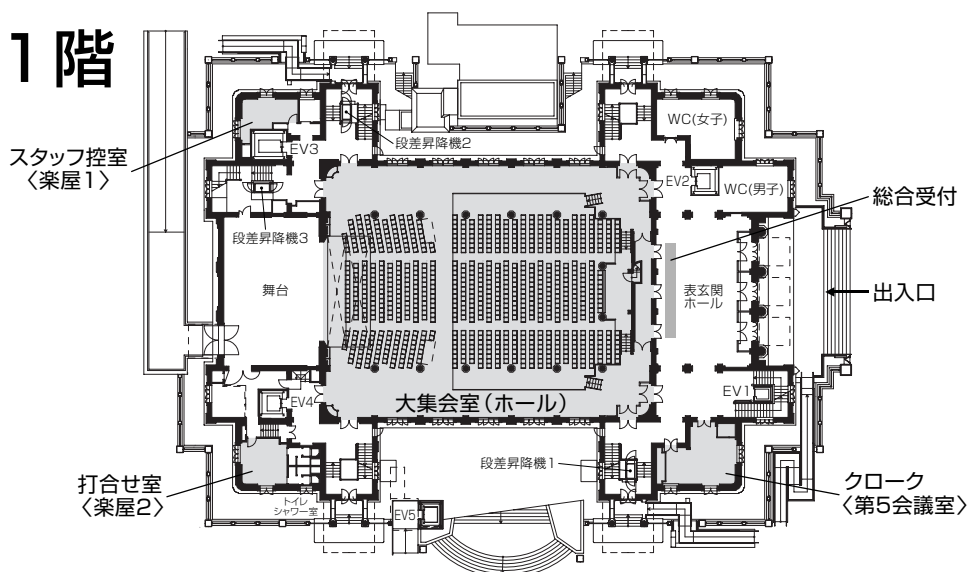
クイズポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の問題欄には3列×4行、下の解答・解説欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙が横置きで貼付けられます。

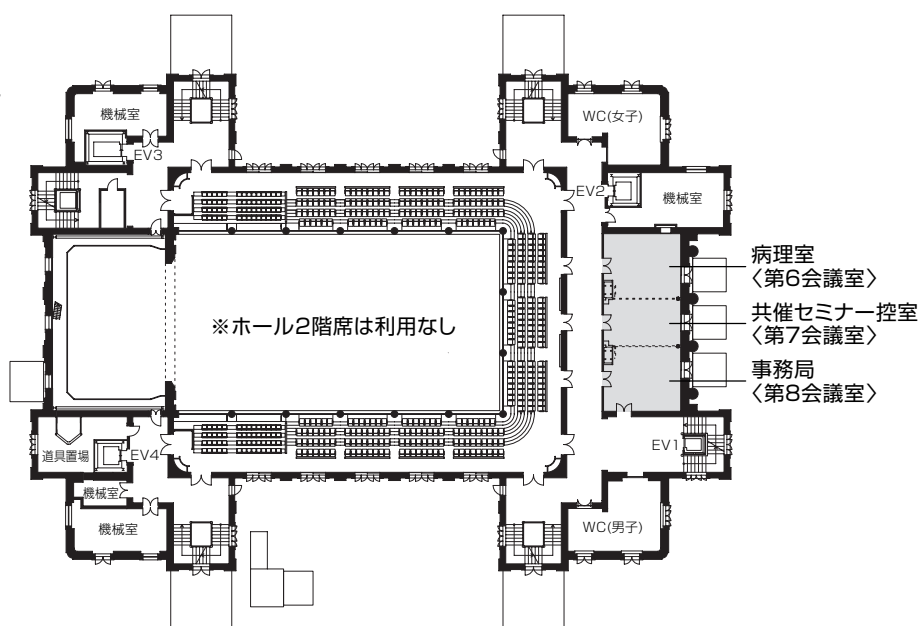
演題番号は事務局で準備します。		使用しません		135mm
図に番号をふっておくとき解読の際に便利です (論文の様に)				60mm
症例 ・ 68歳男性 ・ 主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 ・ 日本酒2合x52年 ・ 5月検診にて貧血指数0.6(8合)近頃受診、7月頃下血が一度あり、8月に気分不快、悪心、嘔吐、下血もあり、他院受診入院、Hb6g/L、輸血、OT、US行っても出血源不明、11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診、Hb 8.0と低下のため緊急入院。		図1 腹部造影CT (1回目、遅延相) 		900mm
図2 上部腹部dynamic CT (2回目) 脾石状に影して胃十二指腸腸管(矢印)につながるように腸管(矢印)を認める。		図3 MPVR-MIP 		
図4 腹部動脈造影 		画像所見の解説にはここでは伏せて、どういう検査法のみめしてくださ (Key pointがわかりにくい場合は矢印などをつけ、その解説は解答・解説欄で述べてください)		
Key imageは繰り返して提示していただいてもかまいません。		60mm		
塞栓術で治療したHemosuccus Pancreaticusの1症例 魚山 聖史 飯生 茂 南 孝 赤羽 正孝 吉岡 直紀 古賀 久雄 渡辺 俊 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科		入院後経過 ・ Hb 8.0 g/dL, CRP 0.3 mg/dL ・ 正時性貧血 (RBC 227万 / μL, MCV 88.1) ・ amylase 168 IU/L, p-pancreas 74 ↑ IU/L ・ 胆管上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion へのみ血送付等 ・ CT (一回目): 慢性膵炎増強、脾臓部に石灰化 ・ 小腸造影: 異常なし ・ HSA出血シンチ: 異常なし ・ 輸血 (MAP 2Ux3回)		900mm
図5 胃十二指腸動脈造影 後上腹十二指腸動脈起始部近くに慢性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。		最終診断 Hemosuccus Pancreaticus hemor=[L,a/m] blood succus=[L.] juice		60mm
Hemosuccus Pancreaticus ・ Sandblom P (1970) が最初に報告 ・ 脾臓からの大量の出血を指す ・ 脾臓からの出血が慢性膵炎に伴うもの ・ 慢性膵炎の脾臓内破裂により脾臓からの出血 ・ その他に外傷性、富血性腫瘍の脾臓部、迷走脾 (異所性脾) などによるものも報告されている ・ 報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)		Hemosuccus Pancreaticus: 診断 出血は間欠的なため、動脈から脾臓への出血が提出されるのはまれ。 (Suter, 1995) 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断 (Moran, 1982; Jacobs, 1992) 内視鏡で不明なものは血管造影が有用 (Shahar, 1994) OTで慢性膵炎、動脈瘤。 3D-CT angiography も有用 (Malchevsky, 1997)。		900mm
必要な場合はreferenceを加えて下さい		初日の18:30までは、ここから下の部分を縦900mm×横1160mmの紙で隠します。		80mm
この部分は見にくいので、掲載しないようにして下さい。				1160mm

会場フロア図

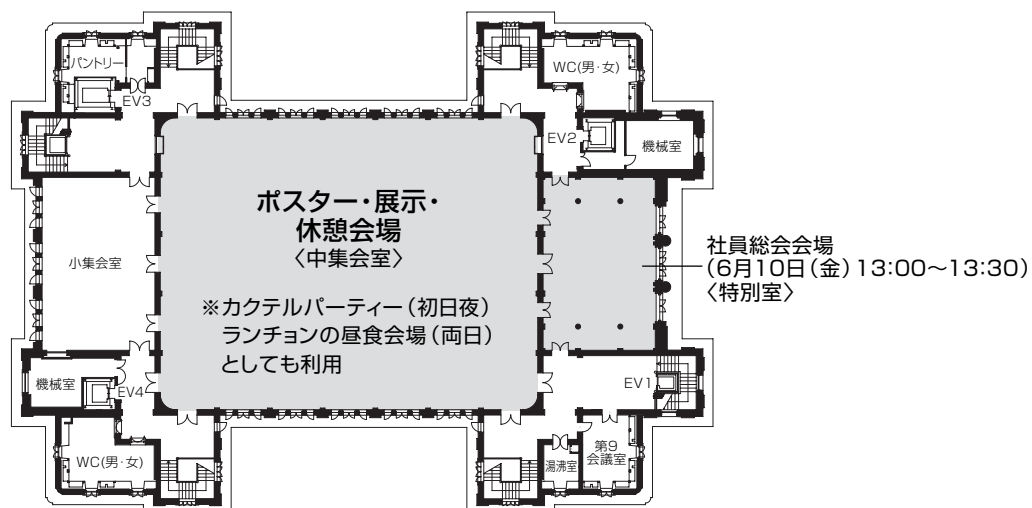
1 階



2 階



3 階



プログラム・日程表

第25回 日本腹部放射線研究会 日程表

6月10日(金)			6月11日(土)	
9:00	9:00~9:05 開会の挨拶		9:00	9:00~10:04 泌尿器(O-40~O-47)
	9:05~9:53 消化管-1(O-1~O-6)			
10:00	9:53~10:41 消化管-2(O-7~O-12)		10:00	10:04~10:44 後腹膜-2(O-48~O-52)
	コーヒープレイク(約10分)			
11:00	10:50~11:30 後腹膜-1(O-13~O-17)		11:00	コーヒープレイク(約15分)
	11:30~12:00 基調講演1			
12:00			12:00	11:30~11:45 展示協賛プレゼンテーション 11:45~11:50 クイズ症例優秀者表彰
	12:05~12:55 ランチョンセミナー1			
13:00	12:55~13:30 昼食	13:00~13:30 社員総会(世話人会)	13:00	12:00~12:40 ランチョンセミナー2
14:00	13:30~14:10 胆・膵-1(O-18~O-22)		14:00	12:40~13:20 昼食
	14:10~14:25 事務局連絡			
15:00	14:25~15:05 胆・膵-2(O-23~O-27)		15:00	13:20~13:50 打田賞受賞講演
	コーヒープレイク(約15分)			
16:00	15:20~16:08 子宮・卵巣-1(O-28~O-33)		16:00	13:50~14:38 肝-1(O-53~O-58)
	16:08~16:56 子宮・卵巣-2(O-34~O-39)			
17:00			17:00	コーヒープレイク(約15分)
	17:10~18:00 イブニングセミナー1			
18:00	18:00~18:40 ポスターディスカッション			14:55~15:43 肝-2(O-59~O-64)
	18:40~ クイズ症例解答公開			
			6月12日(日) 日本腹部放射線研究会 第2回 CT コロノグラフィー・ トレーニングコース	

9:00~9:05 開会の挨拶

9:05~9:53 セッション1 消化管-1(6題)

座 長 市川 珠紀 (東海大学 放射線診断科)
コメンテーター 江頭由太郎 (大阪医科大学 病理学教室)

0-1 腹部CTが診断の契機となった胃癌合併Cronkhite-Canada症候群の1例

伊藤 高広¹、正田 哲也¹、高濱 潤子¹、前田 新作¹、高橋 亜希¹、丸上 永晃²、
平井都始子²、吉川 公彦¹

奈良県立医科大学 放射線医学教室¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²

0-2 小網発生Castleman病の1例

大河内知久¹、松浦 克彦¹、濱本 耕平¹、角田 秀和¹、丹野 啓介¹、大森 義男¹、
田中 修¹、野田 弘志²、小西 文雄²、野首 光弘³、山田 茂樹³

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科¹、自治医科大学附属さいたま医療センター 外科²、
自治医科大学附属さいたま医療センター 病理科³

0-3 空腸腸間膜由来の異所性腓に伴う腸間膜脂肪織炎および脂肪壊死の1例

岩下 紗子、五十嵐隆朗、松島 理士、北井 里実、川上 剛、関谷 透、
福田 国彦

東京慈恵会医科大学 放射線科

0-4 びまん性の腹膜腫瘤像を呈した小児の1例

石山 彩乃¹、井手口怜子¹、村上 友則¹、林 秀行¹、磯本 一郎¹、上谷 雅孝¹、
安倍 邦子²、林 徳眞吉²、岡田 雅彦³、望月 響子⁴、進藤美智子⁵、福田 俊夫⁵、
得 雄一郎⁶

長崎大学病院 放射線科¹、長崎大学病院 病理部²、長崎大学病院 小児科³、
長崎大学病院 小児外科⁴、長崎市民病院 放射線科⁵、長崎市民病院 小児科⁶

0-5 興味ある画像所見を呈した、極めて稀な肝円索 CCMMTの1例

齋藤 一浩¹、亀山 哲章²、香月 優亮²、有田 正裕³、楯 玄秀⁴、加山 英夫¹

国際親善総合病院 放射線科¹、国際親善総合病院 外科²、国際親善総合病院 消化器内科³、
国際親善総合病院 病理科⁴

0-6 腹膜原発高分化型乳頭状中皮腫の1例

鱸居百合子、北井 里実、松島 理士、五十嵐隆朗、川上 剛、関谷 透、
福田 国彦

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O-7 虫垂原発悪性リンパ腫の1例

渡嘉敷唯司、五十嵐隆朗、松島 理人、北井 里実、関谷 透、福田 国彦
東京慈恵医大病院 放射線科

O-8 S状結腸間膜の平滑筋肉腫の1例

加藤 仁美¹、君塚 孝雄¹、長谷川 弘¹、大日向祥子¹、京極 伸介¹、佐伯 春美²、
泉 浩²、野島美知夫³、桑鶴 良平⁴
順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科¹、順天堂大学医学部附属浦安病院 病理診断科²、
順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科³、順天堂大学医学部 放射線医学講座⁴

O-9 急性骨髄性白血病治療中に発症した食道多発隆起性病変の1例

首藤 紀子¹、渡谷 岳行¹、赤羽 正章¹、佐藤 次郎¹、小松 秀平¹、吉岡 直紀¹、
瀬尾 幸子²、黒川 峰夫²、森田 茂樹³、深山 正久³、大友 邦¹
東京大学医学部附属病院 放射線科¹、東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科²、
東京大学医学部附属病院 病理部³

O-10 十二指腸から発生したGIST が疑われた1例

宮寄 俊幸¹、吉村 芳弘²、松田 正和²、池田 信二²、八田 泰彦²
桜十字病院 放射線科 健診センター¹、桜十字病院 外科²

O-11 腺癌を合併したtailgut cystの1例

中島 直美¹、菅原 敬文¹、井上 武¹、酒井 伸也¹、高橋 忠章¹、梶原 誠¹、
篠原 秀一¹、小島 誉也²、久保 義郎²、河村 進³、寺本 典弘⁴、高畑 浩之⁴
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 放射線診断科¹、
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 外科²、
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 形成外科³、
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 病理科⁴

O-12 腸間膜脂肪織炎の1例

杉原 良¹、山本 浩詞¹、渡邊 真央²、西村 重彦²、星田 義彦³、杉村 和朗⁴
住友病院 放射線科¹、住友病院 外科²、住友病院 病理部³、神戸大学医学部附属病院 放射線科⁴

10:50~11:30 セッション3 後腹膜-1(5題)

座 長 川上 光一 (医仁会武田総合病院 放射線科)
コメンテーター 辻 求 (大阪医科大学 病理学教室)

0-13 核医学検査が有用であった副腎骨髄脂肪腫の1例

山元 龍哉¹、木下 一之¹、土田 龍郎¹、木村 浩彦¹、木村 朋子²、鈴木 仁弥²、
山内 寛喜³、伊藤 秀明³、横山 修³、法木 左近⁴

福井大学医学部 放射線医学教室¹、福井大学医学部 第三内科²、福井大学医学部 泌尿器科³、
福井大学医学部 腫瘍病理学⁴

0-14 骨盤後腹膜原発のSolitary fibrous tumorの1例

井上 快児¹、岡田 吉隆¹、高橋 正洋¹、西 直子¹、山口 浩²、矢澤 康男³、
木村 文子¹

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科¹、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科²、
埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍科・整形外科³

0-15 骨盤内孤発性線維性腫瘍の1例

佐藤 章子、麻谷 美奈、吉村 宣彦、青山 英史

新潟大学医学部 放射線医学講座

0-16 副腎被膜由来Solitary Fibrous Tumorの1例

高田 陽子¹、高橋 康二¹、山田 有則¹、油野 民雄¹、松本 成史²、徳差 良彦³、
三代川 齊之³

旭川医科大学 放射線科¹、旭川医科大学 腎泌尿器外科²、旭川医科大学病院 病理部³

0-17 後腹膜Castleman diseaseの1例

木藤 雅文¹、笹尾 明¹、安田 剛¹、浦田 譲治¹、山下 康行²

社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 中央放射線部¹、熊本大学大学院 放射線診断学分野²

11:30~12:00 基調講演1：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

座 長 辻 求 (大阪医科大学 病理学教室)

演 者 柳澤 昭夫 (京都府立医科大学大学院医学研究科人体病理学 京都府立医科大学附属病院病理部)

『IPMNの画像と組織像－嚢胞性病変としての位置づけからみて－』

12:05~12:55 ランチョンセミナー1：東芝メディカルシステムズ株式会社

座 長 金澤 右 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線医学)

演 者 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部放射線科学教室)

『泌尿器画像診断の新たな展開 ～320列 Area Detectorを用いて～』

演 者 加藤 勤 (医療法人住友別子病院 放射線部)

『3TMRIでの肝胆膵領域におけるMulti-Phase Transmissionの使用経験』

12:55～13:30 昼食(3F 中集会室にて)

13:00～13:30 社員総会(世話人会)

13:30～14:10 セッション4 胆・膵-1(5題)

座 長 松枝 清 (癌研有明病院 画像診断部)
コメンテーター 柳澤 昭夫 (京都府立医科大学 人体病理学)

0-18 膵芽腫との鑑別が困難であった小児膵SPNの1例

山崎 香奈¹、桑鶴 良平¹、井上 達朗¹、柘植 大輔¹、堀田 昭博¹、山高 篤行²、
宮野 剛²、荒川 敦³、福村 由紀³
順天堂大学医学部 放射線医学講座¹、順天堂大学医学部 小児外科・小児泌尿生殖器外科学講座²、
順天堂大学医学部 人体病理病態学講座³

0-19 膵管内腫瘍栓を伴った腺房細胞癌の1例

山崎 元彦、高野 徹、吉村 宣彦、青山 英史
新潟大学医学部 放射線科

0-20 陳旧化したsolitary fibrous tumorと考えられた膵腫瘤の1例

菅原 敬文¹、中島 直美¹、酒井 伸也¹、梶原 誠¹、高橋 忠章¹、灘野 成人²、大田
耕司³、棚田 稔³、高畑 浩之⁴、寺本 典弘⁴
四国がんセンター 放射線診断科¹、四国がんセンター 内科²、四国がんセンター 外科³、
四国がんセンター 病理科⁴

0-21 Solid pancreatic hamartomaの1例

竹山 信之¹、田尻 琢磨²、水上 博喜³、石橋 一慶³、長浜 正亜⁴、林 高樹¹、
岡部 尚行¹、黒木 一典¹、橋本 東児¹
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 病理診断科²、
昭和大学藤が丘病院 外科³、昭和大学藤が丘病院 消化器内科⁴

0-22 膵管内乳頭粘液性腺癌を疑った粘液癌成分を伴った膵腺房細胞癌の1例

沼波 悟古¹、鈴木耕次郎¹、高田 章¹、森 芳峰¹、長縄 慎二¹、伊藤 茂樹²、
竹田 伸³、下山 芳江⁴
名古屋大学医学部附属病院 放射線医学教室¹、名古屋第一赤十字病院 放射線診断科²、
名古屋大学医学部附属病院 消化器外科³、名古屋大学医学部附属病院 中検病理⁴

14:10～14:25 事務局連絡

- ・ 日本腹部放射線研究会の法人化について
- ・ 正会員の年会費制について

14:25~15:05 セッション5 胆・膵-2(5題)

座 長 相部 仁 (小倉記念病院 放射線科)
コメンテーター 柳澤 昭夫 (京都府立医科大学 人体病理学)

0-23 膵尾部に境界明瞭な2cm大の充実性結節を呈した腫瘤形成性膵炎の1例

森阪 裕之¹、本杉宇太郎¹、佐野 勝廣¹、市川 智章¹、荒木 力¹、斎藤 晴久²、
天白 典秀³、山寺 陽一³

山梨大学医学部 放射線科¹、山梨厚生病院 消化器科²、山梨厚生病院 外科³

0-24 膵前腸嚢胞の1例

舟津 智一¹、齋藤 和博¹、佐口 徹¹、吉村 宜高¹、赤田 壮一¹、徳植 公一¹、
永井 毅²、糸井 隆夫³、青木 達哉⁴

東京医科大学 放射線医学講座¹、東京医科大学 病理学講座²、東京医科大学 内科学第四講座³、
東京医科大学 外科学第三講座⁴

0-25 膵PPomaの3例

高司 亮¹、松本 俊郎¹、山田 康成¹、本郷 哲央¹、清永 麻紀¹、森 宣¹、
太田 正之²、北野 正剛²、泥谷 直樹³、守山 正胤³

大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 総合外科学第1講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³

0-26 胆嚢癌が合併したPeutz-Jeghers syndrome(PJS)の1例

檜山 貴志、渋谷 陽子、那須 克宏、増本 智彦、南 学

筑波大学附属病院 放射線診断/IVR科

0-27 術前に腫瘍を指摘できなかった胆嚢腺筋腫症に生じた早期胆嚢癌の1例

武輪 恵¹、丸上 永晃²、正田 哲也³、高橋 亜希³、高濱 潤子³、庄 雅之⁴、
森田 剛平⁵、吉川 公彦³

平成記念病院 放射線科¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²、
奈良県立医科大学 放射線科³、奈良県立医科大学 消化器・総合外科⁴、
奈良県立医科大学 病理診断学講座⁵

15:05~15:20 コーヒーブレイク (約15分)

座 長 高濱 潤子 (奈良県立医科大学 放射線医学教室)
コメンテーター 名方 保夫 (千船病院 臨床病理科)

0-28 子宮憩室の1例

柴田 英介、小野田 結、田村 綾子、不破 相勲、石山 光富、槇殿文香理、
森田 由香、兼平 沙矢、加茂 実武、齋田 幸久
聖路加国際病院 放射線科

0-29 FDG-PET/CTで高集積を呈した膣平滑筋腫の1例

小田 麻生¹、北島 一宏¹、前田 哲雄¹、高橋 哲¹、杉村 和朗¹、宮原 義也²、
天野 知香³、原 重雄⁴
神戸大学 医学部 内科系講座 放射線医学分野¹、神戸大学 医学部 産科婦人科²、
島根大学 医学部 病理学講座³、神戸大学 医学部 病理診断科⁴

0-30 子宮頸部の胎児型横紋筋肉腫botryoid variantの1例

西田 香織¹、結縁 幸子¹、益澤 尚子²、赤澤健太郎¹、後藤眞理子¹、山田 恵¹、
西村 恒彦¹
京都府立医科大学 放射線診断治療学¹、京都府立医科大学 病院病理部²

0-31 内膜症性嚢胞に発生したミューラー管型粘液性境界悪性腫瘍の1例

麻谷 美奈¹、佐藤 章子²、山崎 元彦²、青山 英史¹、梅津 哉³
新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍放射線分野¹、新潟大学医歯学総合病院 放射線科²、
新潟大学医歯学総合病院 病理部³

0-32 LAMに合併した子宮および後腹膜PEComaの1例

北井 里実¹、五十嵐隆朗¹、松島 理士¹、川上 剛¹、関谷 透¹、福田 国彦¹、
岡本 愛光²、鷹橋 浩幸³
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座¹、東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座²、
東京慈恵会医科大学 病理学講座³

0-33 経過で画像上の変化を確認しえた胎盤間葉性異形成の1例

大彌 歩¹、藤永 康成¹、角谷 真澄¹、大平 哲史²、塩沢 丹里²、遠藤 真紀³、
福島 万奈³、小沢 岳澄¹、小松 大祐¹、金子喜久子¹、杉山由紀子¹、松下 美奈¹、
柳澤 新¹、渡辺 智治¹、黒住 昌弘¹、川上 聡¹
信州大学医学部附属病院 放射線科¹、信州大学医学部附属病院 産科婦人科²、
信州大学医学部附属病院 臨床検査部³

16:08~16:56 セッション7 子宮・卵巣-2(6題)

座 長 松崎 健司 (徳島大学医学部 放射線診断科)
コメンテーター 名方 保夫 (千船病院 臨床病理科)

0-34 多発した子宮Atypical Polypoid Adenomyomaの1例

堀川 雅弘¹、新本 弘¹、塩見 英佑¹、太田 香織¹、富田 浩子¹、加地 辰美¹、
前川 和也²、河合 俊明²、精 きぐな³、古谷 健一³

防衛医科大学校 放射線医学講座¹、防衛医科大学校 臨床検査医学講座²、
防衛医科大学校 産婦人科学講座³

0-35 子宮腺肉腫の1例

赤坂 太¹、小山 貴¹、前倉 拓也¹、古田 昭寛、岡田 務¹、塩崎 俊城¹、
藤堂 義郎¹、吉岡 信也²、若狭 朋子³

大阪赤十字病院 放射線科¹、大阪赤十字病院 産婦人科²、大阪赤十字病院 病理診断科³

0-36 診断が困難であった卵巣硬化性間質性腫瘍の1例

三森 天人¹、長谷聡一郎¹、松原伸一郎¹、稲井 良太¹、武本 充広¹、太田 友香²、
水谷 靖司²、赤松 信雄²、藤澤 真義³、上者 郁夫⁴、金澤 右⁵

姫路赤十字病院 放射線科¹、姫路赤十字病院 産婦人科²、姫路赤十字病院 病理³、
岡山大学医学部 保健学科⁴、岡山大学医学部 放射線科⁵

0-37 卵巣原発肝様癌の1例

長谷聡一郎¹、三森 天人¹、稲井 良太¹、武本 充広¹、松原伸一郎¹、立岩 尚²、
赤松 信雄²、内野かおり³、藤澤 真義³、上者 郁夫⁴、金澤 右⁵

姫路赤十字病院 放射線科¹、姫路赤十字病院 婦人科²、姫路赤十字病院 病理³、
岡山大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野医用情報理工学領域⁴、
岡山大学大学院医歯薬総合研究科 放射線医学⁵

0-38 性索間質性腫瘍を模倣する類内膜腺癌の1例

谷坂 愛¹、藤澤 英文¹、砂押 紀子¹、船木 翔¹、松成 一矢¹、渡邊 孝太¹、
櫛橋 民生¹、荒川 香²、高橋 諄²、尾松 睦子³、国村 利明³

昭和大学横浜市北部病院 放射線科¹、昭和大学横浜市北部病院 産婦人科²、
昭和大学横浜市北部病院 病理³

0-39 遷延する産褥期出血を来した絨毛癌の1例:MRI所見を中心に

高濱 潤子¹、市橋 成夫¹、伊藤 博文¹、高橋 亜希¹、丸上 永晃¹、武輪 恵¹、
伊藤 高広¹、吉川 公彦¹、永井 景³、小林 浩³、高野 将人²、野々村昭孝²

奈良医大 放射線科¹、奈良県立医科大学 病理診断学教室²、奈良県立医科大学 産婦人科³

17:10~18:00 **イブニングセミナー1：シーメンス・ジャパン株式会社**

『腹部領域におけるCT・MRの撮影技術Update』

座 長 山本 和宏 (大阪医科大学 放射線医学教室)

演 者 小林 聡 (金沢大学大学院 医学系研究科 経血管診療学)

「DSCTにおける新たな画像診断の可能性」

演 者 梶 靖 (獨協医科大学 放射線医学講座)

「MRIで理解する前立腺解剖」

18:00~18:40 **ポスターディスカッション**

18:40~ **クイズ症例解答公開**

9:00~10:04 セッション8 泌尿器(8題)

座 長 高橋 哲 (神戸大学 放射線医学分野)
コメンテーター 長嶋 洋治 (横浜市立大学医学部 分子病態腫瘍病理学)

O-40 腎盂扁平上皮癌の1例

大木 一剛¹、辰野 聡¹、木村 雅子¹、三井田和夫¹、青柳 裕¹、古内 徹²、
宮内 潤³

東京歯科大学市川総合病院 放射線科¹、東京歯科大学市川総合病院 泌尿器科²、
東京歯科大学市川総合病院 臨床検査科³

O-41 phacomatosis pigmentokeratoticの腎芽腫合併例

清水 哲也、松島 理士、川上 剛、北井 里実、五十嵐隆朗、関谷 透、
福田 国彦

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O-42 転座型腎細胞癌の画像所見 ―多施設症例検討―

陣崎 雅弘¹、黒田 直人²、原 祐子³、金山 博臣⁴、三上 修治⁶、中谷貴美子⁵、
浅沼 宏⁷、田波 穰¹、佐藤 裕⁸、大家 基嗣⁷

慶應義塾大学医学部 放射線診断科¹、高知赤十字病院 病理²、川口市立医療センター 放射線科³、
徳島大学医学部 泌尿器科⁴、高知赤十字病院 放射線科⁵、慶應義塾大学医学部 病理診断科⁶、
慶應義塾大学医学部 泌尿器科⁷、東京都立小児総合医療センター 泌尿器科⁸

O-43 膀胱solitary fibrous tumorの1例

加藤 博基¹、星 博昭¹、兼松 雅之¹、横井 繁明²、三輪 好生²、清家 健作²、
出口 隆²、廣瀬 善信³

岐阜大学医学部 放射線科¹、岐阜大学医学部 泌尿器科²、岐阜大学医学部 病理部³

O-44 前立腺葉状腫瘍の1例

鈴木 秀明¹、白神 伸之¹、鈴木 賢一¹、角尾 美果¹、岡田 良行¹、水村 直¹、
山辺 史人²、石井 延久²、深澤 由里³、渋谷 和俊³

東邦大学医療センター大森病院 放射線科¹、東邦大学医療センター大森病院 泌尿器科²、
東邦大学医療センター大森病院 病理³

O-45 膀胱に腫瘍形成したアミロイドーシスの1例

原口 貴史¹、小野田 結¹、野崎 太希¹、不破 相勲¹、負門 克典¹、石山 光富¹、
森田 有香¹、田村 綾子¹、齋田 幸久¹、鈴木 高祐²、藤原 美恵子

聖路加国際病院 放射線科¹、聖路加国際病院 病理診断科²

O-46 尿管原発癌肉腫の1例

前倉 拓也¹、小山 貴¹、古田 明寛¹、岡田 務¹、塩崎 俊城¹、藤堂 義郎¹、
仲島 義治²、西村 一男²、新宅 雅幸³

大阪赤十字病院 放射線診断科¹、大阪赤十字病院 泌尿器科²、大阪赤十字病院 病理部³

O-47 膀胱原発の平滑筋腫瘍の1例

福富 光¹、小山 貴¹、前倉 拓也¹、古田 昭寛¹、岡田 務¹、塩崎 俊城¹、
藤堂 義郎¹、岡村 基弘²、西村 一男²、若狭 明子³

大阪赤十字病院 放射線診断科¹、大阪赤十字病院 泌尿器科²、大阪赤十字病院 病理診断科³

10:04~10:44 セッション9 後腹膜-2(5題)

座 長 扇谷 芳光 (昭和大学医学部 放射線医学教室)

コメンテーター 長嶋 洋治 (横浜市立大学医学部 分子病態腫瘍病理学)

O-48 後腹膜solid-pseudopapillary neoplasmの1例

須山 陽介¹、陣崎 雅弘¹、谷本 伸弘¹、杉浦 弘明¹、秋田 大宇¹、栗林 幸夫¹、
亀山 香織²、宮嶋 哲³

慶應大学医学部 放射線科¹、慶應大学医学部 病理学教室²、慶應大学医学部 泌尿器科³

O-49 成人型神経芽細胞腫の1例

澤田 明宏¹、朝倉 弘郁¹、森口 理久¹、新槇 剛¹、遠藤 正浩¹、石田 裕二²、
松井 隆史³、渡邊 麗子⁴

静岡県立静岡がんセンター 画像診断科¹、静岡県立静岡がんセンター 小児科²、
静岡県立静岡がんセンター 泌尿器科³、静岡県立静岡がんセンター 病理診断科⁴

O-50 後腹膜原発の血管周皮腫の1例

大西 章仁¹、西田 義記¹、上野 嘉子¹、清水 健嗣¹、北村 ゆり¹、山崎 隆²、
城光寺 龍²、辻本 正彦²

大阪警察病院 放射線科¹、大阪警察病院 病理診断科²

O-51 右側腹部痛と腹部膨満感で発見された後腹膜巨大リンパ管腫の1例

中西 能重¹、小山 貴¹、古田 昭寛¹、塩崎 俊城¹、藤堂 義郎¹、片岡 幸三²、
河野 幸裕²、若狭 朋子³

大阪赤十字病院 放射線科¹、大阪赤十字病院 外科²、大阪赤十字病院 病理部³

O-52 幼児に発生した右後腹膜脂肪芽腫の1例

加藤 勝也¹、新家 崇義¹、井原 弘貴¹、宇賀 麻由¹、清 哲朗¹、佐藤 修平¹、
柳井 広之²、金澤 右¹

岡山大学医学部 放射線科¹、岡山大学医学部 病理部²

口演 6月11日(土)

10:44~11:00 コーヒーブレイク (約15分)

11:00~11:30 基調講演2：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

座長 鳴海 善文 (大阪医科大学 放射線医学教室)

演者 若狭 研一 (大阪市立大学大学院医学研究科 診断病理学(附属病院病理部))

『早期肝細胞癌と前癌病変の病理』

11:30~11:45 展示協賛プレゼンテーション

座長 松木 充 (大阪医科大学 放射線医学教室)

発表1：富士フィルムメディカル株式会社

発表2：株式会社AZE

発表3：ピー・エス・ピー株式会社

11:45~11:50 クイズ症例優秀者表彰

12:00~12:40 ランチョンセミナー2：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

座長 村上 卓道 (近畿大学医学部 放射線医学講座放射線診断学部門)

演者 本杉宇太郎 (山梨大学医学部放射線科)

「MRエラストグラフィー本邦における初期知見」

12:40~13:20 昼食(3F 中集会室にて)

13:20~13:50 打田賞受賞講演

表彰 打田日出夫

司会 松井 修

口演(消化器系部門)

母娘発症のIPHに生じた肝過形成結節の画像

金沢大学経血管診療学 放射線科 米田 憲秀

口演(泌尿生殖器系部門)

生検で診断できた尿管アミロイドーシスの2例

慶應義塾大学医学部 放射線診断科 荻岡 祐子

口演(泌尿生殖器系部門)

Epithelioid angiomyolipomaの画像所見

慶應義塾大学医学部 放射線診断科 塚田 実郎

展示(消化器系部門)

細胆管癌の2例:CTおよびMRI所見を中心に

徳島大学医学部 放射線科 松崎 健司

展示(泌尿生殖器系部門)

診断に苦慮した卵巣線維腫・莢膜細胞腫群腫瘍の遡及的検討

筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 応用放射線医学分野 田中優美子

13:50~14:38 セッション10 肝-1(6題)

座 長 堀 雅敏 (大阪大学 放射線医学教室)
コメンテーター 若狭 研一 (大阪市立大学 診断病理学)

O-53 胆管内乳頭状腫瘍の2例

大野 裕美、近藤 浩史、渡邊 春夫、川田 紘資、五島 聡、兼松 雅之
岐阜大学医学部 放射線科

O-54 Dysplastic noduleにペリオシスを合併した肝腫瘍の1例

中村 優子¹、谷 千尋¹、本田有紀子¹、古本 大典¹、谷為 恵三¹、高須 深雪¹、
伊達 秀二¹、栗井 和夫¹、茶山 一彰²、天野 尋暢³、田代 裕尊³、大段 秀樹³、
藤井 将義⁴、有廣 光司⁴
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線診断学¹、広島大学大学院 分子病態制御内科学²、
広島大学大学院 外科学³、広島大学病院 病理診断科⁴

O-55 乏血性肝細胞癌の脱分化巣がEOB造影MRI肝細胞相で高信号を示した1例

高野 徹¹、青山 英史¹、加村 毅²、山本 哲史³
新潟大学医歯学総合病院 放射線科¹、信楽園病院 放射線科²、長岡中央総合病院 放射線科³

O-56 画像的に伸展を捉えた肝エキノコックス症の1例

山田 有則¹、高橋 康二¹、平沼 初音¹、八巻 利弘¹、渡邊 尚史¹、佐々木智章¹、
高田 延寿¹、高田 陽子¹、高林江里子¹、小林 圭吾¹、小田島正幸¹、石戸谷俊太¹、
本橋 健司¹、油野 民雄¹、徳差 良彦²、今澤 雅子³、齋藤 司⁴
旭川医科大学 放射線科 放射線科¹、旭川医科大学病院 病理部²、
旭川医科大学 内科学講座病態代謝内科学分野³、
旭川医科大学 内科学講座循環呼吸神経病態内科学分野⁴

O-57 肝放線菌症の1例

永野 仁美¹、上田 浩之¹、伊藤 亨¹、小林 裕之²、今井 幸弘³
神戸市立医療センター中央市民病院 画像診断・放射線治療科¹、
神戸市立医療センター中央市民病院 外科²、神戸市立医療センター中央市民病院 臨床病理科³

O-58 hepatic capillary hemangiomaの1成人例

坂根 誠、金 東石、堀 雅敏、大西 裕満、中本 篤、坪山 尚寛、
巽 光朗、富山 憲幸
大阪大学 医学系研究科 放射線医学講座

14:38~14:55 コーヒーブレイク (約15分)

14:55~15:43 セッション11 肝-2(6題)

座 長 曹 博信 (山梨大学医学部放射線科)
コメンテーター 若狭 研一 (大阪市立大学 診断病理学)

O-59 G-CSF産生胆管細胞癌のFDG-PET所見:症例報告

関谷 徳泰¹、神長 達郎¹、櫻町 円香¹、治山 高広¹、竹下 浩二¹、古井 滋¹、
佐野 圭二²

帝京大学医学部附属病院 放射線科¹、帝京大学医学部附属病院 外科²

O-60 von Gierke病を背景に増大した肝細胞腺腫の1例:肝特異性造影所見を中心に

正田 哲也¹、丸上 永晃²、高濱 潤子¹、伊藤 高広¹、高橋 亜希¹、平井都始子²、
豊原 真久³、野々村昭孝⁴、吉川 公彦¹

奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²、
奈良県立医科大学 消化器内科³、奈良県立医科大学 病理診断学⁴

O-61 大腸癌術後の化学療法中に明瞭化した肝の局所的な類洞拡張の1例

佐野 勝廣¹、市川 智章¹、曹 博信¹、本杉宇太郎¹、荒木 力¹、飯野 弥²、
松田 政徳²、藤井 秀樹²、中澤 匡男³、近藤 哲夫³

山梨大学医学部 放射線医学教室¹、山梨大学医学部 第一外科²、山梨大学医学部 人体病理³

O-62 epithelioid cellを主体とした肝血管筋脂肪腫の1例

坪山 尚寛¹、金 東石¹、堀 雅敏¹、大西 裕満¹、巽 光朗¹、中本 篤¹、
坂根 誠¹、森井 英一²、藤田 茂樹²、富山 憲幸¹

大坂大学大学院医学系研究科 放射線医学講座¹、大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学²

O-63 淡明細胞型 肝細胞癌の1例

牧 大介¹、水戸川芳巳¹、吉田 敦史¹、坂本 秀登¹、譲尾安友子¹、金澤 右²
呉共済病院 放射線科¹、岡山大学大学院医歯薬総合研究科 放射線医学²

O-64 高度の炎症細胞浸潤を伴った中分化型肝細胞癌の1例

清永 麻紀¹、高司 亮¹、才 道昭¹、山田 康成¹、松本 俊郎¹、森 宣¹、
岩下 幸雄²、太田 正之²、北野 正剛²、内田 智久³、佐分利彰子⁴

大分大学医学部 臨床医学系 放射線科¹、大分大学医学部 外科学第一講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³、大分県立病院 放射線科⁴

座 長 岡田 真広 (近畿大学医学部 放射線医学講座)
コメンテーター 若狭 研一 (大阪市立大学 診断病理学)

0-65 非典型的画像所見を呈した巨大肝血管腫の1例

南 麻紀子¹、片桐 亜矢子¹、宇野 幸子¹、小林 健¹、辻 重継²、土山 寿志²、丹羽 秀樹³、片柳 和義³、車谷 宏³
石川県立中央病院 放射線診断科¹、石川県立中央病院 消化器内科²、
石川県立中央病院 病理診断科³

0-66 S状結腸癌・胃癌術後経過観察中に出現した肝寄生虫膿瘍

森川 和彦¹、水沼 仁孝¹、荻安 俊哉¹、福田 大記¹、加藤 弘毅²
大田原赤十字病院 放射線科¹、済生会宇都宮病院 放射線科²

0-67 肺や肝に腫瘤を形成したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例

田辺 昌寛¹、鷺田 康雄¹、藤田 岳史¹、小林 大河¹、大崎 正子¹、飯田 悦史¹、
松永 尚文¹、権藤 俊一²
山口大学医学部 放射線科¹、山口大学医学部附属病院 病理部²

0-68 限局性結節性過形成(FNH)との鑑別に苦慮した肝細胞癌の1例

山田 哲¹、上田 和彦¹、加賀美聡之介¹、丸山 舞¹、塚原 嘉典¹、八田 朋子¹、
藤田 幸恵¹、松下 剛²、金子 智喜²、角谷 眞澄²
信州大学医学部附属病院 放射線科¹、信州大学医学部 画像医学講座²

0-69 EOBプリモビスト造影MRIで非典型的所見を示す肝細胞性結節：多段階発癌とMRI

本杉 宇太郎¹、市川 智章¹、佐野 勝廣¹、曹 博信¹、中野 雅行²、荒木 力¹
山梨大学医学部 放射線医学教室¹、大船中央病院 病理²

座 長 杉村 和朗 (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野)
演 者 今井 裕 (東海大学医学部 基礎診療学系画像診断学)

『Ingenia 3.0TMRI装置の新技术dStreamによる臨床初期経験』

ポスターディスカッション1

座長 丸上 永晃 (奈良県立医科大学 放射線医学教室)

P-1 肝細胞腺腫に肝細胞癌が合併した1例

西川 正子¹、田辺 昌寛¹、藤田 岳史¹、松永 尚文¹、前田 祥成²、為佐 卓夫²、
権藤 俊一³

山口大学医学部 放射線科¹、山口大学 消化器・腫瘍外科²、山口大学 病理部³

P-2 IgG4関連疾患と診断された肝偽腫瘍の1例

臼杵 則朗¹、豊島 正実¹、山下 幸政²、勝山 栄治³

神戸市立医療センター西市民病院 放射線科¹、神戸市立医療センター西市民病院 消化器内科²、
神戸市立医療センター西市民病院 病理³

P-3 GIST肝転移破裂の1例

岡崎 肇¹、黒瀬 太一¹、門前 芳夫¹、水戸 未央²、和田崎晃一²

県立広島病院 放射線診断科¹、県立広島病院 放射線治療科²

P-4 進行する肝不全の臨床像を呈した肝ペリオシスの一例:剖検との対比

樋本 祐紀¹、奥村 亮介¹、尾上 宏治¹、森畠 裕策¹、大野 豪¹、道上 佳洋¹、
上野 誠¹、藤本 正数²、光野 重根¹

北野病院 放射線科¹、北野病院 病理部²

P-5 門脈内腫瘍の1例

清水 大功¹、磯田 裕義¹、川原 清哉¹、嶋田功太郎¹、宮川 文²、安近健太郎³

京都大学医学部 放射線診断科¹、京都大学医学部 病理診断科²、京都大学医学部 肝・胆・膵外科³

P-6 Von Recklinghausen氏病に合併した肝悪性末梢神経鞘腫の1例

櫻川 尚子¹、朝日 智子¹、吉田 耕太郎¹、山本 亨¹、吉川 淳¹、海崎 泰治²

福井県立病院 放射線科¹、福井県立病院 臨床病理科²

P-7 肝炎症性偽腫瘍とHCCが異時性に発症した1例

北山 聡明¹、上ノ山直人²、土井 喜宣²、中場 寛行³、有馬 良一⁴

国家公務員共済組合連合会 大手前病院 放射線科¹、
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 消化器内科²、
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 外科³、
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 病理⁴

P-8 肝原発が示唆されたカルチノイドの1例

喜多 奈穂¹、内田 政史¹、角 明子¹、迫田 順¹、早瀬 尚文¹、緒方 俊郎²、
奥田 康司²、中島 収³

久留米大学医学部 放射線科¹、久留米大学 外科²、久留米大学 病理学³

P-9 巨大出血性肝嚢胞の1例

尾崎 公美¹、蒲田 敏文²、林 泰寛⁴、谷 卓⁴、太田 哲生⁴、龍沢 泰彦³、
今井 哲也³、大和 太郎³、戸田 有宣³、松井 修²

石川県済生会金沢病院 放射線科¹、金沢大学大学院医学系研究科 経血管診療学²、
石川県済生会金沢病院 外科³、金沢大学附属病院 肝胆膵・移植外科⁴

P-10 膵転移を来した肝solitary fibrous tumor

井原 弘貴¹、新家 崇義¹、加藤 勝也¹、山下 真子¹、稲井 良太¹、郷原 英夫¹、
奥村 能啓¹、清 哲朗¹、佐藤 修平¹、金澤 右¹、杭瀬 崇²、榎田 祐三²、
八木 孝仁²、田中 健大³

岡山大学医学部 放射線科¹、岡山大学病院 消化管外科、肝胆膵外科²、岡山大学病院 病理部³

P-11 肝にhemangiomatosisと有茎性巨大hemangiomaが併存した1例

山下 智裕¹、山室 博²、橋本 毅¹、明神 和紀¹、山本壮一郎³、井野元智恵⁴、
岩田 美郎²、平林 健一⁴、今井 裕¹

東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学¹、東海大学医学部附属大磯病院 放射線科²、
東海大学医学部 外科学系消化器外科学³、東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学⁴

P-12 新生児肝血管内皮腫の1例

豊田 一郎¹、釘抜 康明¹、北楯 優隆¹、道合万里子¹、常山 奈央¹、高橋 知子¹、
利波 久雄¹、井川 廣道²、犀川 太³、湊 宏⁴

金沢医科大学 放射線医学教室¹、金沢医科大学 小児外科²、金沢医科大学 小児科³、
金沢医科大学 病理学⁴

P-13 病理組織でも脂肪を認めなかった肝血管筋脂肪腫の1例

土橋 一代¹、内田 政史¹、喜多 奈穂¹、魚住 淳¹、早瀬 尚文¹、川原 隆一²、
堀内 彦之²、中島 収³、吉田 成吾⁴、浦 りえ⁴

久留米大学医学部 放射線科¹、久留米大 外科²、久留米大学 病理学講座³、
筑後市立病院 放射線科⁴

P-14 原発性胆汁性肝硬変(PSC)に合併した胆管内発育型肝内胆管癌の1例

小坂 一斗、米田 憲秀、新村理絵子、香田 渉、小林 聡、蒲田 敏文、
松井 修

金沢大学医学部 放射線科

ポスターディスカッション3

座長 前田 哲雄 (神戸大学医学部 放射線医学講座)

P-15 石灰乳が示唆された後腹膜bronchogenic cystの1例

野橋 智美、渡邊 祐司、奥村 明、永山 雅子、天羽 賢樹、石守 崇好、
中下 悟、石橋 愛、藪田 実、坂田 昭彦、河村 晃、百々 俊樹、
山田 剛史、西松 佳代、河村 光栄、金重総一郎、廣瀬 瑞樹、林 貴史、
百々 義廣

倉敷中央病院 放射線科

P-16 胃悪性GISTとの鑑別を要した傍神経節腫の1例

水野まゆみ¹、藤田 寛子²、中田 桂¹、永島 淳一¹、野田 治久³、管間 博⁴

多摩北部医療センター 放射線科¹、多摩北部医療センター 内分泌科²、

多摩北部医療センター 泌尿器科³、杏林大学病院 病理学科⁴

P-17 脾嚢胞性病変との鑑別に苦慮した小網原発の嚢胞性リンパ管腫の1例

治山 高広¹、竹下 浩二¹、古井 滋¹、新谷裕加子²

帝京大学医学部 放射線科¹、帝京大学医学部 医学部病理学講座²

P-18 原発性後腹膜漿液性腺癌の1例

森 博史¹、鶴崎 正勝¹、丸山 光也¹、松村 武史¹、深澤 優子¹、神山 和俊¹、
勝部 敬¹、中村 恩¹、吉廻 毅¹、北垣 一¹、小原 千明²、有地 直子²、
井川 幹夫^{2,3}、濱岡真実子³、石川 典由³、丸山理留敬³

島根大学医学部附属病院 放射線科¹、島根大学医学部附属病院 泌尿器科²、

島根大学医学部附属病院 病理部³

P-19 後腹膜腔に発生したデスモイド腫瘍の1例

原田 詩乃¹、宮田 景子¹、境 昌宏¹、松浦 秀司¹、古谷 清美¹、安森 弘太郎¹、
山口 将平²、池尻 公二²、桃崎 征也³

(独)国立病院機構九州医療センター 放射線科¹、国立病院機構九州医療センター 外科²、

国立病院機構九州医療センター 病理部³

P-20 傍下行結腸後腹膜に局在した神経節細胞種の1例

影山 健¹、下野 太郎¹、前林 徹範¹、小山 孝一¹、竹下 徹¹、山本 晃¹、
村田 哲洋²、永原 央²、平川 弘聖²、三木 幸雄¹

大阪市立大学医学部 放射線医学教室¹、大阪市立大学医学部 消化器外科²

P-21 腎類上皮型血管筋脂肪腫の1例

清水 幸生¹、山田 弘樹¹、布施 春樹²、河田 尚子³、今村 好章⁴
舞鶴共済病院 放射線科¹、舞鶴共済病院 泌尿器科²、舞鶴共済病院 臨床検査科³、
福井大学医学部附属病院 病理部⁴

P-22 嫌色素細胞性腎癌の1例

南 哲弥¹、小坂 一斗¹、香田 渉¹、中村 功一¹、永井 圭一¹、松原 崇史¹、
蒲田 敏文¹、松井 修¹、栗林 正人²、北川 育秀²、並木 幹夫²、北村 星子³、
池田 博子³
金沢大学医学部 放射線科¹、金沢大学医学部 泌尿器科²、金沢大学附属病院 病理部³

ポスターディスカッション4

座 長 梅岡 成章(京都大学医学部 放射線医学講座)

P-23 子宮筋腫内に転移を認めた肺多形癌の1例

熊副 洋幸¹、穴井 諭²、若松謙太郎²、岩崎 泰憲³、永松 佳憲³、永田 忍彦⁴
国立病院機構大牟田病院 放射線科¹、国立病院機構大牟田病院 呼吸器内科²、
国立病院機構大牟田病院 呼吸器外科³、福岡大学筑紫病院 呼吸器内科⁴

P-24 女性骨盤領域に生じ、子宮悪性腫瘍との鑑別が困難であった黄色肉芽腫症の1例

高橋 亜希¹、高濱 潤子¹、丸上 永晃¹、武輪 恵¹、伊藤 高弘^{1,2}、吉川 公彦¹、
笠井 孝彦²、日高 晶子³、阪口 浩³
奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 病理診断学講座²、三室病院 放射線科³

P-25 子宮腺筋症を背景とする子宮癌肉腫の1例

山本菜穂子¹、山岡 利成¹、玉井 賢¹、藤井 剛²、中西 桂子²、安原裕美子³
京都桂病院 放射線科¹、京都桂病院 産婦人科²、京都桂病院 病理診断科³

P-26 CTで発見されたvaginitis emphysematosaの1例

坂部 亜希、吉松美佐子、大倉 直樹、森本 毅、中島 康雄
聖マリアンナ医科大学病院 放射線科

P-27 腫瘍内出血を伴った子宮粘液腫様平滑筋腫の1例

竹内麻由美¹、松崎 健司¹、原田 雅史¹、榊 美佳²、海老沢桂子³、加藤 剛志³、
廣瀬 隆則⁴
徳島大学医学部 放射線科¹、徳島大学病院 病理部²、徳島大学医学部 産婦人科³、
徳島県立中央病院 病理診断科⁴

P-28 重複子宮、片側膣閉鎖、同側腎欠損に発生した子宮頸癌の1例

中本 篤、金 東石、堀 雅敏、大西 裕満、坪山 尚寛、坂根 誠、
巽 光朗、富山 憲幸
大阪大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座

P-29 子宮腺筋症に合併した骨盤内放線菌症の1例

小林 茂、杉本 英治
自治医科大学 放射線科

ポスターディスカッション5

座長 杉本 良 (住友病院 放射線科)

P-30 月経不順を主訴とした若年発症の卵巣線維腫の1例

乗金精一郎¹、上者 郁夫²、笹井 信也³、井田健太郎³、加地 充昌³、柳井 広之⁴、
金澤 右⁵
岡山労災病院 放射線科¹、岡山大学 保健学科²、岡山画像診断センター 放射線科³、
岡山大学病院 病理部⁴、岡山大学 放射線科⁵

P-31 FDG-PET/CTにて描出された、子宮体癌の卵巣線維腫への転移の1例

酒井 伸也¹、菅原 敬文¹、梶原 誠¹、高橋 忠章¹、白山 裕子²、日浦 昌道²、
高畑 浩之³、寺本 典弘³
四国がんセンター 放射線科¹、四国がんセンター 婦人科²、四国がんセンター 病理科³

P-32 帝王切開の手術瘢痕部に発生した腹壁子宮内膜症の1例

松成 一矢¹、藤澤 英文¹、砂押 紀子¹、船木 翔¹、谷坂 愛¹、渡邊 孝太¹、
櫛橋 民生¹、佐々木 康²、高橋 諄²、御子神哲也³、国村 利明³
昭和大学横浜市北部病院 放射線科¹、昭和大学横浜市北部病院 産婦人科²、
昭和大学横浜市北部病院 病理科³

P-33 閉経後女性に生じたSertoli-Leydig cell tumorの1例

増井 浩二¹、佐藤 修¹、浅井 俊輔¹、松本 知博¹、飯田 茂晴¹、森下 博之¹、
山田 俊夫²、永田 昭博³
京都第一赤十字病院 放射線診断科¹、京都第一赤十字病院 産婦人科²、
京都第一赤十字病院 病理診断科³

P-34 Multiple extrauterine adenomyomasの1例:画像所見、病理所見からの発生モデルに対する考察

中井 豪¹、松木 充¹、稲田 悠紀¹、立神 史稔¹、結城 雅子¹、鳴海 善文¹、
山田 隆司²
大阪医科大学 放射線科¹、大阪医科大学 病理学教室²

P-35 会陰部に発生したcellular angiofibromaの1例

本田 理¹、乗金精一郎¹、森本 真美¹、山本 博道¹、杉本 盛人²、那須 良次²、
田口 孝爾³、金澤 右⁴
岡山労災病院 放射線科¹、岡山労災病院 泌尿器科²、岡山労災病院 病理³、
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線医学⁴

P-36 異所性子宮内膜症由来と考えられた明細胞癌の1例

大森 智子¹、瀧川 政和¹、藤井 馨¹、堀田 綾子²、齋藤 生朗²、金澤 秀紀³、
巽 英樹⁴、佐々木 真弓⁵

国立病院機構相模原病院 放射線科¹、国立病院機構相模原病院 病理²、
国立病院機構相模原病院 外科³、国立病院機構相模原病院 産婦人科⁴、至誠会第二病院 放射線科⁵

ポスターディスカッション6

座長 金崎 周造 (滋賀医科大学 放射線医学講座)

P-37 小腸イレウスをきたした硬化性腸間膜炎の1例

兵頭 朋子¹、熊野 正士¹、津田 孝治²、上田 和毅³、杉浦 史哲³、前西 修⁴、
木村 雅友⁴、望月 輝一²、村上 卓道¹

近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門¹、愛媛大学医学部 生体画像応用医学²、
近畿大学医学部 外科学講座³、近畿大学医学部 病理学講座⁴

P-38 横行結腸捻転の1例

土田 千賀¹、岩崎 俊子¹、本多 桂²、麻生 慶子²、泉 俊昌²

福井総合病院 放射線科¹、福井総合病院 外科²

P-39 NF-1に合併した十二指腸乳頭部カルチノイド腫瘍の1例

武智 恵¹、津田 孝治¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、三好 明文²、藤山 泰二²、
串畑 史樹²、高田 泰次²

愛媛大学医学部 放射線科¹、愛媛大学医学部 肝胆膵移植外科²

P-40 びまん性胃蜂窩織炎の1症例

宮田 景子¹、原田 詩乃¹、境 昌宏¹、松浦 秀司¹、古谷 清美¹、安森弘太郎¹、
岸原 康浩²、原田 直彦²、中牟田 誠²、中山 吉福³

国立病院機構 九州医療センター 臨床研究センター放射線科¹、
国立病院機構 九州医療センター 臨床研究センター 内科²、
国立病院機構 九州医療センター 臨床研究センター 病理部³

P-41 食道巨大fibrovascular polypの1例

井本 勝治¹、石川 佑一¹、山崎 道夫¹、坂本 力¹、石塚 泉²

公立甲賀病院 放射線科¹、公立甲賀病院 内科²

P-42 診断に苦慮した大網原発gastrointestinal tumorの1例

遠山 純¹、井上 大^{1,5}、阿保 齊^{1,5}、出町 洋^{1,5}、山本 精一²、清水 康一²、
中西ゆう子³、寺畑信太郎³、達 宏樹^{4,5}、杉原 政美^{4,5}、蒲田 敏文⁵、松井 修⁵

富山県立中央病院 放射線科¹、富山県立中央病院 外科²、富山県立中央病院 臨床病理科³、
富山市民病院 放射線科⁴、金沢大学 放射線科⁵

ポスター展示

ポスターディスカッション7

座長 三宅 基隆 (神戸大学 放射線医学分野)

P-43 腸重積にて発見された小腸平滑筋腫の1例

佐野村隆行¹、加藤 勤¹、花岡 俊仁²、白川 敦子³
住友別子病院 放射線診断科¹、住友別子病院 外科²、住友別子病院 病理診断科³

P-44 高度のび慢性直腸壁肥厚を呈した乳癌の直腸、後腹膜転移の1例

進藤美智子¹、崎戸 康浩¹、南 和徳¹、福田 俊夫¹、堤 卓也²、大野 毅³、
入江 準二⁴、上谷 雅孝⁵
長崎県立市民病院 放射線科¹、長崎県立市民病院 内科²、長崎県立市民病院 外科³、
長崎県立市民病院 病理科⁴、長崎大学病院 放射線科⁵

P-45 十二指腸浸潤を来した虫垂粘液腺癌の1例

小山 孝一¹、李 友浩²、山田 靖哉²、三木 幸雄¹
大阪市立大学大学院医学研究科 放射線医学教室¹、大阪市立大学大学院医学研究科 第1外科²

P-46 大網裂孔ヘルニアの1例

川田 紘資¹、近藤 浩史¹、浅野 隆彦¹、富松 英人¹、加藤 博基¹、五島 聡¹、
小島 寿久¹、渡邊 春夫¹、高木 希¹、吉田麻里子¹、大野 裕美¹、兼松 雅之¹、
徳丸 剛久²、佐々木義之²
岐阜大学医学部附属病院 放射線科¹、岐阜大学医学部附属病院 消化器外科²

P-47 内部壊死、嚢胞変性を有する巨大腫瘤を形成した腹膜悪性中皮腫の1例

立元 将太¹、児玉 芳尚¹、櫻井 康雄¹、福田 健志¹、金子 昌史²、濱口 京子²、
青木 敬則²、三井 慎也²、野村 昌史²、南野 佳英³、岸田 明博³、篠原 敏也⁴
手稲溪仁会病院 放射線診断科¹、手稲溪仁会病院 消化器内科²、手稲溪仁会病院 外科³、
手稲溪仁会病院 病理診断科⁴

ポスターディスカッション8

座長 秋田 大宇 (慶応義塾大学医学部 放射線科学教室)

P-48 会陰部発生のSolitary Fibrous Tumorの1例

生駒 顕¹、千葉 堯弘¹、野田 泰孝¹、三田 裕記¹、中田 耕平¹、佐原 伸也¹、
高坂 功¹、南口 博紀¹、中井 資貴¹、武内 泰造¹、河合 信行¹、園村 哲郎¹、
佐藤 守男¹、児玉 芳季²、楠本 浩貴²、森 一郎³
和歌山県立医科大学 放射線医学教室¹、和歌山県立医科大学 泌尿器科学教室²、
和歌山県立医科大学 第二病理学教室³

P-49 透析腎に発生した腎癌に併存した後腹膜リンパ節血管腫の1例

康本真由美¹、鈴木 滋¹、松本 玲子¹、野呂 彰²、千葉 浩司²、竹下 秀毅²、
東海林琢男³、兼子 耕³、安達 章子³、森山 真吾²
さいたま赤十字病院 放射線科¹、さいたま赤十字病院 泌尿器科²、さいたま赤十字病院 病理³

P-50 陰嚢内angiomyofibroblastoma-like tumorの1例

丸山 光也¹、松村 武史¹、森 博史¹、吉廻 毅¹、深澤 優子¹、神山 和俊¹、
勝部 敬¹、山本 伸子¹、福庭 栄治¹、中村 恩¹、鶴崎 正勝¹、北垣 一¹、
荒木亜寿香²、井川 幹夫³
島根大学医学部 放射線科¹、島根大学医学部 病理部²、島根大学医学部 泌尿器科³

P-51 前立腺間質肉腫の1例

東 浩樹、玉田 勉、伊東 克能
川崎医科大学 放射線科 画像診断

P-52 腎由来のsolitary fibrous tumorの2例

上島 巖¹、栗原 泰之¹、大倉 直樹¹、山城 恒雄¹、濱口 真吾¹、中島 康雄¹、
力石 辰也²、小池 淳樹³、高木 正之³
聖マリアンナ医科大学医学部 放射線科¹、聖マリアンナ医科大学医学部 腎泌尿器外科²、
聖マリアンナ医科大学医学部 病院病理部³

P-53 陰嚢内に発生したリンパ管奇形/リンパ管腫の1例

赤池 源介¹、野崎 太希¹、槇殿文香理¹、小野田 結¹、柴田 英介¹、原口 貴史¹、
加茂 実武¹、齋田 幸久¹、森田 有香¹、兼平 沙矢¹、平林 健²、鈴木 高裕³
聖路加国際病院 放射線科¹、聖路加国際病院 小児外科²、聖路加国際病院 病理診断科³

P-54 尿管原発小細胞癌の1例

川田 秀一¹、市川 珠紀¹、山下 詠子¹、今井 裕¹、川上 正能²、加藤 成一²、
寺地 敏郎²、唐 小燕³、井野元智恵³、中村 直哉³
東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学¹、東海大学医学部 外科学系 泌尿器科学²、
東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学³

P-55 出血壊死による退縮および非機能化が観察し得た褐色細胞腫の1切除例

奥村健一朗、小坂 一斗、龍 泰治、吉江 雄一、川井 恵一、南 哲弥、
蒲田 敏文、松井 修
金沢大学医学部附属病院 放射線科

ポスターディスカッション9

座長 渡谷 岳行 (東京大学医学部 放射線医学教室)

P-56 門脈ガスを伴った気腫性胆嚢炎の2例

黒川 浩典、藤島 護、河原 道子
津山中央病院 放射線科

P-57 胆管狭窄をきたした結核性リンパ節炎の1例

堀越 琢郎¹、本折 健¹、横田 元¹、下総 良太¹、井上 幸平¹、石原 武²、
横須賀 収²、伊東 久夫¹、金子和歌子¹、東出 高至¹、植田 琢也¹、
千葉大学医学部附属病院 放射線科¹、千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学²

P-58 胆嚢印環細胞癌と類似疾患

信澤 宏¹、河原 正明²、後閑 武彦²
川崎幸病院 放射線科¹、昭和大学 放射線科²

P-59 胆嚢粘液癌の1例

永井 圭一¹、南 哲弥¹、米田 憲秀¹、小坂 一斗¹、香田 渉¹、小林 聡¹、
蒲田 敏文¹、松井 修¹、廣瀬 淳史²、田島 秀浩²、北川 裕久²、太田 哲生²、
角田 優子³、原田 憲一³
金沢大学医学部附属病院 放射線科¹、金沢大学附属病院 消化器外科²、金沢大学附属病院 病理部³

P-60 胆管細胞癌と軟骨肉腫成分が併存した肝癌肉腫の1例

杉岡 勇典¹、土師 守¹、中島 高弘²、河村 貴²、岡村 明治³、前田 哲雄⁴、
杉村 和朗⁴
加古川市民病院 放射線科¹、加古川市民病院 外科²、加古川市民病院 病理部³、
神戸大学医学部附属病院 放射線科⁴

P-61 胃に開口した膵胆管分離異所性開口の1例

大倉 直樹、森本 毅、吉松美佐子、中島 康雄
聖マリアンナ医科大学 放射線科

P-62 新生児に生じた膵芽腫の1例

高田 章¹、佐竹 弘子¹、鈴木耕次郎¹、長縄 慎二¹、小川 浩⁴、金子健一郎²、
小野 靖之²、佐藤 啓³、安藤 久實²
名古屋大学医学部 放射線科¹、名古屋大学医学部 小児外科²、名古屋大学医学部 病理部³、
トヨタ記念病院 放射線科⁴

P-63 膵inflammatory myofibroblastic tumorの1例

戸上 泉¹、富田 晃司¹、長谷川 明¹、守都 常晴¹、石原 節子¹、安井光太郎¹、
仁熊 健文²、三村 哲重²、能勢総一郎³、浜家 一雄³
岡山済生会総合病院 放射線科¹、岡山済生会総合病院 外科²、岡山済生会総合病院 病理³

P-64 血液所見、画像所見、生検所見に乖離が見られた自己免疫性膵炎の1例

井上 大¹、橋本 成弘¹、阿保 齊¹、出町 洋¹、松田耕一郎²、野田 八嗣²、清水 康一³、内山 明央⁴、寺畑信太郎⁴、蒲田 敏文⁵、松井 修⁵
富山県立中央病院 放射線科¹、富山県立中央病院 消化器内科²、富山県立中央病院 外科³、富山県立中央病院 病理診断科⁴、金沢大学病院 放射線科⁵

P-65 腫瘍出血を契機に発見された膵頭部癌の1例

橋本 彩¹、高濱 潤子²、丸上 永晃³、中込 将弘¹、末吉 智²、吉川 公彦²、藤野 光廣⁴、北井 祥三⁴
市立奈良病院 放射線科¹、奈良県立医科大学 放射線科²、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部³、市立奈良病院 外科⁴

P-66 膵管内管状腫瘍の1例

熊谷 雄一¹、福倉 良彦¹、上村 清央¹、進藤 俊和¹、立山 暁大¹、瀬戸口陽樹¹、前村 公成²、新地 洋之²、東 美智代³、中條 政敬¹
鹿児島大学医学部 大学院医歯学総合研究科先進治療学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学¹、鹿児島大学医学部 腫瘍制御学²、鹿児島大学医学部 人体病理学³

P-67 高齢男性に発症した膵Solid-pseudopapillary neoplasm

金田 祥、柿手 卓、藤井 進也、福永 健、神納 敏夫、小川 敏英
鳥取大学医学部 病態解析医学講座 医用放射線学分野

P-68 膵芽種の1例

大木 穂高¹、林田 佳子¹、西濱 晴香¹、山下 慶子¹、高橋 広行¹、青木 隆敏¹、興梠 征典¹、古賀 友紀²、宗崎 良太³
産業医科大学大学院 放射線科¹、九州大学大学院医学研究院 成長発達学²、九州大学大学院医学研究院 小児外科学³

P-69 内部性状が経時的に変化した膵粘液性嚢胞腫瘍の1例

戸島 史仁、達 宏樹、柴田 義宏、前川 一恵、杉原 政美
市立富山市民病院 放射線科

P-70 左腎静脈内に穿通した膵仮性嚢胞の1例

板谷 貴好、高司 亮、本郷 哲央、山田 康成、岡田 文人、松本 俊郎、森 宣
大分大学医学部 放射線医学講座

P-71 肺癌の膵転移により急性膵炎を来した1例

橋本奈々子、斉藤 順子、池野 宏、龍 泰治、香田 渉、小林 聡、蒲田 敏文、松井 修、小坂 一斗
金沢大学付属病院 放射線科

ポスターディスカッション11

座長 吉川 武 (神戸大学 放射線医学分野)

P-72 大網由来の副脾の1例

松浦 範明、浦島 正喜、松浦 明子、大成 妙、梶原 賢司、岡部 智行、
松浦 寛司、影本 正之
広島市立広島市民病院 放射線科

P-73 腹腔内出血で発症し脾動脈塞栓術を施行した脾原発血管肉腫の1例

武藤 昌裕、長谷 智也、高見 知宏、石川 喜一、小山 雅司、渡辺 賢一
岡崎市民病院 放射線科

P-74 脾SANTの1例

百々 俊樹、渡邊 祐司、奥村 明、永山 雅子、天羽 賢樹、石守 崇好、
中下 悟、石橋 愛、薮田 実、坂田 昭彦、河村 晃、山田 剛史、
野橋 智美、西松 佳代、河村 光栄、金重総一郎、廣瀬 瑞樹、林 貴史、
百々 義廣
倉敷中央病院 放射線科

P-75 脾臓原発の炎症性偽腫瘍の1例

宗近 次郎¹、西城 誠¹、扇谷 芳光¹、後閑 武彦¹、中山 智理²、土岐 彰²
昭和大学病院 放射線医学教室¹、昭和大学 小児外科²

P-76 脾臓SANTの1例

土江 洋二¹、荒木 久寿¹、安藤 慎司¹、湯浅 貢司¹、黒田 覚²、児玉 光史¹、
安井 清¹、大沼 秀行³
島根県立中央病院 放射線科¹、島根県立中央病院 放射線治療科²、
島根県立中央病院 病理組織診断科³

P-77 著明な嚢胞性変化を示した通常型脾癌の1例

吉岡 真二¹、起塚 香子¹、清水 輝彦¹、浦島 雄介²、村田 繁利¹、飛田 陽³、
大城 由美³
松山赤十字病院 放射線科¹、松山赤十字病院 放射線科²、松山赤十字病院 病理部³

P-78 悪性脾solid-pseudopapillary neoplasmの1例

扇谷 芳光¹、宗近 次郎¹、河原 正明¹、西城 誠¹、須山 淳平¹、清野 哲孝¹、
廣瀬 正典¹、後閑 武彦¹、野本 朋宏²、吉田 仁²、青木 武士³、村上 雅彦³、
齋藤 光次⁴、大池 信之⁴
昭和大学医学部 放射線医学教室¹、昭和大学医学部 内科学講座消化器内科学部門²、
昭和大学医学部 消化器・一般外科学教室³、昭和大学医学部 第一病理学教室⁴

P-79 脾腫瘍との鑑別が困難であった膵尾部原発膵内分泌癌の1例

西田 暁史¹、林 秀行¹、磯本 一郎¹、上谷 雅孝¹、黒木 保²、足立 智彦²、
中島 正洋³

長崎大学医学部 放射線診断治療学¹、長崎大学医学部 移植消化器外科学²、
長崎大学医学部 腫瘍診断病理学研究分野³

クイズ展示 6月10日(金)

- Q-1** 東京女子医科大学 画像診断学・核医学講座¹、東京女子医科大学 第二外科²、
東京女子医科大学 病理診断科³、東京女子医科大学 整形外科⁴
木村 健¹、田嶋 強¹、西原雄之介¹、河野 真理¹、坂井 修二¹、萩原 洋子⁴、
加藤 義治⁴、橋本 拓造²、亀岡 信悟²、西川 俊郎³
- Q-2** NTT東日本札幌病院 放射線科¹、NTT東日本札幌病院 病理診断科²
広村 忠雄¹、佐藤 昌明²
- Q-3** 手稲溪仁会病院 放射線科¹、手稲溪仁会病院 消化器内科²、手稲溪仁会病院 外科³、
手稲溪仁会病院 病理診断科⁴
児玉 芳尚¹、櫻井 康雄¹、福田 健志¹、立元 将太¹、矢根 圭²、野村 昌史²、
真口 宏介²、桧村 暢一³、篠原 敏也⁴
- Q-4** 焼津市立総合病院 放射線科¹、焼津市立総合病院 外科²、焼津市立総合病院 泌尿器科³、
焼津市立総合病院 病理科⁴
深谷 哲昭¹、高橋 雄²、石原 行雄²、小林 史岳³、太田 信隆³、久力 権⁴
- Q-5** 奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学 放射線科²、
松原徳洲会病院 放射線科³、松原徳洲会病院 外科⁴
丸上 永晃¹、高濱 潤子²、北野 悟²、伊藤 高広²、高橋 亜希²、阪口 昇二³、
高力 俊策⁴、寺島 孝弘⁴、吉川 公彦²
- Q-6** 東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学¹、東海大学医学部大磯病院 放射線科²、
東海大学医学部大磯病院 外科³、東海大学医学部大磯病院 病理⁴
橋田 和靖¹、岩田 美郎²、西 隆之³、島田 英雄³、佐藤 慎吉⁴
- Q-7** 北野病院 放射線科¹、北野病院 病理²
道上 佳洋¹、奥村 亮介¹、尾上 宏治¹、森島 裕策¹、大野 豪¹、樋本 裕紀¹、
上野 誠¹、藤本 正数²、光野 重根¹
- Q-8** 大阪市立大学医学部 放射線科¹、大阪市立大学医学部 女性診療科²、
大阪市立大学医学部 病理診断科³
葛原 佑子¹、竹下 徹¹、下野 太郎¹、小山 孝一¹、前田 裕子¹、木下 浩¹、
田中 紀子¹、前林 徹範¹、城後 篤志¹、影山 健¹、濱本 晋一¹、寒川 悦次¹、
曹 寿幸¹、本田 謙一²、若狭 研一³、三木 幸雄¹
- Q-9** 東京慈恵会医科大学 放射線医学講座¹
松島 理士¹、川上 剛¹、清水 哲也¹、北井 里実¹、五十嵐隆朗¹、関谷 透¹、
福田 国彦¹
- Q-10** 長崎大学病院 放射線科¹、長崎大学病院 移植・消化器外科²、長崎大学病院 病理部³
坂本 綾美¹、林 秀行¹、磯本 一郎¹、坂本 一郎¹、村上 友則¹、上谷 雅孝¹、
黒木 保²、足立 智彦²、岡本 辰哉²、森田 道²、兼松 隆之²、木下 直江³、
林 徳真吉³